

次期可燃ごみ処理施設整備事業の進捗状況について

◆平成 28 年度の進捗状況

(1) 環境影響評価の実施【H28～H30】

環境影響評価業務（「方法書の作成」⇒「現況調査・予測」⇒「準備書の作成」⇒「評価書の作成」）の受注者を指名競争入札により決定し、方法書（どのような項目について、どのような方法で調査・予測・評価を行うかという計画を示すもの）の作成作業に着手しました。

○受注者 パシフィックコンサルタンツ株式会社 山陰事務所
松江市末次本町 46 番地（本社：大阪市北区堂島浜）

(2) 施設基本計画の策定【H28～H29】

焼却炉の形式や主要設備、運営方式を定める施設基本計画の策定業務の受注者をプロポーザル方式により決め、作業に着手しました。今後、この計画は、外部学識経験者による専門委員を置き、廃棄物・環境・経営の専門的見地からの意見を聞きながら検討し、決定します。

○受注者 株式会社エイト日本技術開発 松江支店
松江市東朝日町 151 番地 34（本社：東京都中野区本町）

(3) アクセス道路、敷地造成の詳細設計【H28～H29、H28】

道路及び敷地造成の詳細設計に着手しました。いずれも受注者は、指名競争入札によりパル建設コンサルタント株式会社（出雲市西郷町 333 番地 1）に決定しました。

(4) 地下水利用の可能性調査【H28】

次期可燃ごみ処理施設のプラント用水のバックアップ用に、地下水の利用を検討します。まず、現地踏査や文献等により地形・地層を調査します。この業務の受注者は指名競争入札により、北陽技建株式会社（出雲市荻苅町 53 番地 2）に決定しました。

この調査で水脈存在の可能性があれば、別途、電気探査などを実施していきます。

(5) 地元要望の対応

次期可燃ごみ処理施設の稼働に伴う交通量の増加など、周辺住民の生活環境への影響を勘案し、生活環境の保全や安全対策、地域振興に資する地元要望に対応していきます。現在、地元において、要望事項の調整が行われています。

◇事業予定

番号	項 目	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	
①	環境影響評価	←————→							
②	開発協議・都市計画決定		←————→						
③	施設基本計画	←————→							
④	事業者選定・決定(契約)		←————→						
⑤	施設設計及び工事			←————→				本稼働	
⑥	敷地造成・アクセス道路設計及び工事	←————→							
⑦	地元要望の対応	←————→							